

大会日程

9月2日(金)

◆大崎上島出前授業	1330-1430 長嶋俊介(鹿児島大学名誉教授)	瀬戸内海の島々を学ぶ ～島育ちの君達の足場～	6
	1430-1530 遠部慎(久万高原町教育委員会)	瀬戸内海の島々の成り立ち	8
◆理事会	1600-1800		

9月3日(土)

◆公開COCシンポジウム	0900-1030		
◆開会式	1035-1045		
◆基調講演	1045-1130 西田正憲(奈良県立大学)	瀬戸内海再論	12
	1135-1205 馬場宏(大崎上島町)	東野村と船	13
◆研究発表			
第1会場:大崎上島の現状と課題			
(郷土の現状と課題)			
	1300-1325 長谷川尚道(広島商船高専)	離島における交流人口の増大策と定住への考察	16
	1325-1350 桑田明広(広島商船高専)	外国人労働者の言語使用から見えること	20
	1350-1415 松浦真英(清光寺住職)	離島移住への一視点 -福祉的要素を中心として-	22
	1415-1440 諫山憲司(広島国際大)、柴山慧、布施正暁、宮城能彦	離島(大崎上島町)における鳥獣被害 -イノシシ被害の現況と地域との関連-	23
(郷土における知の伝承)			
	1440-1505 中道豪一(広島商船高専)	郷土史家(金原兼雄・馬場宏)による研究成果の評価と継承 -歴史をめぐる危機的状況の認識と克服-	25
	1505-1530 小河浩(広島商船高専)	民俗学などから考えた大崎上島-山間部に残る伝承を中心に-	28
	1530-1555 清田耕司(広島商船高専)、松島勇雄、大内一弘、山田健治、脇山功、岡崎環、榎本江司	船舶に起因する地(知)と技の継承事業	30
(大崎上島での教育実践)			
	1555-1620 田上敦士(広島商船高専)	高等専門学校学生の社会参加型教育の実践と変化	34
	1620-1645 柴山慧(広島商船高専)、岩井一師、諫山憲司、大橋充典	大崎上島の16歳における体力・運動能力等の現状	36
	1645-1710 高野誠大(広島商船高専)、柴山慧、山田将吾、中村亮也、瀧口三千弘	大崎上島におけるスポーツ環境-卓球に焦点をあてて-	40
第2会場:交通・生活・コミュニティ			
(交通・架橋)			
	1300-1325 奥野一生(名古屋商科大学)	瀬戸内海離島の人口・産業・交通	44
	1325-1350 黒沼善博(大林組)	離島架橋による島嶼市場の変化 -市場回帰のための経済学的考察-	46
	1350-1415 岡山正人(広島商船高専)、大山博史、岩切裕哉、岡村修司、田上敦士	大崎上島のコミュニティ・バス(おと姫バス)に関する研究	50
	1415-1440 大山博史(広島商船高専)、岡山正人、岩切裕哉、岡村修司	島内案内システム“しまナビ”の開発	54
(コミュニティ)			
	1440-1505 前畑明美(法政大)	島嶼コミュニティにおける架橋化の社会的影響 -岡山県日生諸島・頭島の事例を中心に-	56
	1505-1530 村上和弘(愛媛大)	近現代対馬における生活史記述の試み	58
	1530-1555 中村敬子(鹿児島大・院)	喜界島におけるキリスト教の教会形成 -プロテスタントの教会事例を中心とし	60
(生活環境)			
	1555-1620 小川領一(鹿児島大・院)	開発途上国の島嶼地域における廃棄物管理の現状と課題 -キューバの事例を中心として-	62
	1620-1645 遠部慎(久万高原町教委)	香川県:豊島を記録する	66
	1645-1710 中村研二(日本経済研究所)	迷惑施設受け入れと地域への影響 ~沖縄米軍基地のNIMBY問題としての検討~	68
第3会場:持続可能な社会のために			
(医療・介護・福祉)			
	1300-1325 森隆子(鹿児島大)	小規模島嶼における看護実践モデルの構築 -島嶼に生きる看護職を取り巻く空間構造-	72
	1325-1350 竹下竜之介(広島商船高専)、芝田浩、大沼 みお	訪問介護における情報管理作業低減に向けたシステムの開発	74
	1350-1415 善積敬浩(広島商船高専・学)、矢野龍彬、成清勝博、梶原和範、穆盛林、岩井一師、松島勇雄	離島独居高齢者の見守り ~電子制御的なアプローチ~	78
	1415-1440 内山憲子(広島商船高専)	海事従事者のストレス分析	82
(教育と人材)			
	1440-1505 澤田大吾(広島商船高専)	離島高専の運営と学校改革 ~志願者数増に向けての取り組み~	86
	1505-1530 可知直毅(首都大学東京)	島の地域資源の発掘に大学はどう貢献できるか ~伊豆大島での首都大学東京の取組み~	90
	1530-1555 諸貫信行(首都大学東京)	伊豆大島の産業実態と人材育成を通じた活性化の検討	92
(観光・資源・産業)			
	1555-1620 宋多情(鹿児島大・院)	奄美大島エコツアーガイドの制度化における諸問題に関する一考察	96
	1620-1645 堀本雅章(法政大)	竹富町鳩間島における学校存続と「瑠璃の島」放映後の観光地化に対する島民意識 -2015年の調査報告-	98
	1645-1710 萩野誠(鹿児島大)	島嶼地区における資源保全型観光とコミュニティ・ビジネス -人材開発による観光複合経営-	100
第4会場:世界の事例から考える			
(動植物と地域)			
	1300-1325 山本宗立(鹿児島大)	ミクロネシアにおける檳榔利用	104
	1325-1350 大塚靖(鹿児島大)、山本宗立、川西基博、野田伸一	ミクロネシア連邦の小島におけるデング熱媒介蚊対策の実践	106
	1350-1415 高橋美野梨(北海道大)	北方先住民社会と海獣 -グリーンランドを事例に考える	108
	1415-1440 長谷川秀樹(横浜国立大)	カップコルス半島(フランス・コルス島)におけるセドラ栽培復興事業について	112

(水産資源の利用と管理)			
1440-1505	西村知(鹿児島大)、鳥居享司、河合溪、小針統	フィジーにおける水産資源利用と市場 —自然資源依存型集落の資源利用モデル化の試み—	116
1505-1530	河合溪(鹿児島大)、西村知、小針統、鳥居享司、J.キトレイ、J.ペイタヤキ	フィジー諸島共和国の村落における資源利用とそれに影響する要因についての研究	120
1530-1555	鳥居享司(鹿児島大)	フィジー共和国における漁業制度と漁業管理	122
(外交・国際情勢)			
1555-1620	神田英宣(防衛大)	離島の安全保障 —中国漁船のサンゴ密漁事件を取り上げて—	124
1620-1645	城渚紗(東京学芸大・院)	韓米関係が日本に与えた影響 —奄美群島日本返還の事例を中心に—	126
1645-1710	花淵馨也(北海道医療大)	2016年コモロ大統領選挙におけるディアスポラの関与について	128

**第5会場: 防災・減災・環境保全
(災害への対処)**

1300-1325	水井真治(広島商船高専)、大野遼太郎、松島勇雄、河村義顕、岸拓真	沿岸地域における船舶を活用した大規模災害時の対応	130
1325-1350	大内一弘(広島商船高専)、河村義顕、濱田朋起、清田耕司、茶園敏文、岸拓	錨泊船舶による災害時の陸上への給電システムに関する研究	134
1350-1415	江種大宗(広島商船高専・専攻科)、河村義顕、木下恵介、敷上敦弘、岸拓真	水中ケーブルに接続された錨泊船舶の離島災害時への対応	138
1415-1440	河村義顕(広島商船高専)、岸拓真、小林豪、長松太樹、藤崎和平	緊急浮棧橋に関する研究	140
(工学的知からのアプローチ)			
1440-1505	馬場弘明(広島商船高専)、大山博史、岡村修司、濱田朋起、後藤佑太	離島における低炭素化対策について ~「電力の見える化」による省エネルギー実験~	142
1505-1530	芝田浩(広島商船高専)、祝部敦至、竹下竜之介、藤井琢也、藤本光貴	赤潮被害低減に向けたIoTを活用したシステム開発とその拡張	146
1530-1555	雷康斌(広島商船高専)、郭陽、大山博史、水井真治	OpenFOAMによる大崎上島の風環境シミュレーション	150
(地域における実践)			
1555-1620	藤原滋泰(広島商船高専)、馬場弘明	高専生による放射線教育の電子書籍を活用した地域での教育実践	152
1620-1645	柴山元彦(自然環境研究オフィス)、香川直子	インドネシアの島々での津波などの子供用防災パンフ配布活動	156
1645-1710	藤富信之(広島商船高専)	大崎上島町の絶滅危惧植物の保護活動について	158

◆ポスター発表

164	榎田拓樹(広島商船高専・学)、津田航、高橋智恵、岩切裕哉	発電所の業務効率化を図るプラント機器検索システムの構築	164
168	近藤日名子(首都大学東京)	伊豆大島における「&観光」新6次産業を担う人材育成プログラムの開発	168
170	大高光輝(広島商船高専)	気象衛星画像における動き情報の利用に関する研究	170

◆2016年度総会

1730-1830 総会終了後に研究奨励賞授与式

◆懇親会(大崎上島開発総合センター)

1900-2100

9月4日(日)

◆エクスカーションA

0830-1155

広島商船高専—大崎クールジェン㈱—白水港(実習船ひかり)—契島港—東邦亜鉛㈱契島精錬所—竹原港(内港)

◆エクスカーションB

0830-1505

広島商船高専—船の資料館—海と島の歴史資料館—大崎クールジェン㈱—白水港(実習船ひかり)—契島港—東邦亜鉛㈱契島精錬所—竹原港(内港)